



町の魅力を観光資源に

まちなか観光を考えるフォーラム in 松前

「まちなか観光を考えるフォーラム in 松前」が、11月6日、文化センターで行われ、高校生から80代まで約50人が参加しました。

まちなか観光をテーマにした愛媛大学山口信夫准教授の講演、まさき—いいとこ見つけ隊の活動報告やディスカッションなどが行われた同フォーラム。参加者は、松前町の多くの魅力に気付き、その魅力を観光資源とするために自分たちができることについて考えていました。



豊かな地域社会づくりを応援

明治安田生命保険相互会社「私の地元応援募金」

明治安田生命保険相互会社松山支社（岸本正宏支社長）は10月27日、「私の地元応援募金」として町に10万6,500円を寄付しました。

これは、地元支援の一環として、従業員がゆかりの自治体等に募金額に、会社が上乗せして寄付をするというもの。同社勝山営業所の内海孝重所長から目録を受け取った岡本町長は、「町のために有効に使わせていただきます」と感謝状を贈りました。



町の特産「はだか麦」をPR

芽吹きと実りのはだか麦フェア

町の特産品「はだか麦」をPRする「芽吹きと実りのはだか麦フェア」が、11月10日から30日までの3週間、東京都で行われました。

このフェアは、愛媛県が日本一の生産量を誇り、本町も三大生産地の一つである「はだか麦」を多くの人に知ってもらおうと開催したものです。愛媛県にゆかりのある東京の人気飲食店8店舗が、はだか麦を使ったメニューを開発。期間限定オリジナルメニューとして提供されました。

提供されたヘルシーでおいしいはだか麦を使った料理は、首都圏の消費者に大好評。特産のはだか麦を存分にPRしました。

提供されたメニューは、町ホームページ（右のQRコード）に掲載しています。ぜひご覧ください。



- ④ 11月9日に開催されたメディア発表会
- ⑤ 岡本町長がはだか麦を贈呈
- ⑥ モツアレラの麦味噌漬



伝統芸能に触れる

未来へ届ける心の旋律コンサート

「未来へ届ける心の旋律コンサート」が、11月2日、文化センターで行われ、町内の小学校6年生が参加しました。

小鼓や箏の演奏を聞いた後、実際に和楽器に触って演奏を体験した子どもたち。

参加した松前小学校の伊賀上俣乃心さんは、「箏を弾くのは2回目。力の入れ方が難しかったけど、きれいな音が出て楽しかった」とほほえんでいました。

- ④ 臨場感あふれる舞台
- ⑤ 初めて弾く箏にドキドキ。きれいな音が出せたかな



河川整備事業の推進などを国へ要望

岡本町長要望活動

四国治水期成同盟連合会は、11月10、11の両日、国土交通省などに重信川の現状と課題について説明を行い、河川整備事業の推進を要望しました。

（写真右）



道前道後用水地区国営かんがい排水事業推進協議会は、11月16日、農林水産省などに道前道後用水施設の長寿化や耐震化を要望しました。

（写真左）



- ① 全国大会でもこの笑顔を再び—
- ② 迫力あるプレー
- ③ ゴールを守る。失点は許さない



創部1年目で快挙

伊予高等学校女子ホッケー部

「第37回四国高等学校選抜ホッケー大会」は、11月12、13の両日、松前町国体記念ホッケー公園ホッケー場で開催され、伊予高等学校女子ホッケー部が創部1年目で準優勝し、全国大会への切符をつかみ取りました。

12日に行われた準決勝では、香川中央高等学校に5対2で勝利。翌13日に行われた決勝戦では高松東高等学校に2対4で惜しくも敗れたものの、両試合で合計6点を決めた平井愛乃さん＝昌農内＝は、「失点を許してしまったのは悔しいけど、全国大会で力を出し切って勝利をつかみたい」と意気込んでいました。坂本みずきさん＝鶴吉＝は、「鉄壁のディフェンスをして失点を許さない」と目標を掲げ、1点を決めた三好菜々子さん＝上高柳＝は、「支えてくれた人たちへの感謝の気持ちを忘れず楽しみたい」と目を輝かせていました。

12月23～27日に岐阜県で行われる全国大会には、同じ出場を決めた同校男子ホッケー部と共に挑みます。

松前町の農水商工の恵みが集結
第8回松前町産業まつり「たわわ祭」

第8回松前町産業まつり「たわわ祭」は11月12、13の両日、まさき村店舗前駐車場で開催されました。会場では、松前町の特産品を販売したほか、町内企業が誇る技術を展示。さらに、姉妹都市の北海道松前町から石山町長が来町し、海の幸などを販売しました。またステージでは、BMX パフォーマンスショーやじゃんけん大会などが行われ、来場した延べ1万2,000人を楽しませました。



1_ 岡本町長のあいさつ 2_ ゆるキャラとじゃんけん大会 3、4_ 会場においしい匂いが漂う 5~8_ 自慢の一品を販売 9、10_ 「おいしい」があふれる 11_ 子どもが楽しめるコーナーも 12~16_ ステージパフォーマンス。観客も一緒に楽しむ



人権の花と心を育てたよ
人権の花運動「花の贈呈式」

人権の花運動「花の贈呈式」は11月16日、松前小学校で行われました。この運動は、子どもたちが育てた花を町内の施設などに届けることで、人権の輪を広げる取り組みです。今年、松前小学校の児童が大切に育てた花を西公民館や町内の金融機関の関係者などに手渡しました。同校の4年生から花とメッセージを受け取った皆さんは、自然と笑顔に。児童が大切に育てた花が、人権と笑顔の輪を広げていました。



田中安男さんが受賞
人権擁護委員法務大臣表彰

「人権擁護委員法務大臣表彰」の表彰式は、10月24日、東京都で行われ、田中安男さん＝大溝＝が受賞しました。これは、田中さんが、平成24年7月に人権擁護委員に委嘱されてから今日まで、地域住民のため積極的に人権尊重思想の普及高揚に努めた功績により受賞したものです。田中さんは、表彰を受けて、「大変光栄なこと。人権擁護について改めて考えるきっかけになった」と話していました。



学校生活の思い出を語る
町誌編さん「松前町を語る会」

「昭和50年以降の松前町を語る会」は10月21日と11月2日の両日、役場で開催され、元教諭や町内小中学校の卒業生など延べ50人以上が参加しました。この会は、現在編さんしている松前町誌をより充実した内容とするため、町が初めて開催したものです。今回は、学校生活をテーマに、校区で分かれて思い出を語り合いました。町では、このような町民の皆さんの声や残された資料を基に、令和7年に町制70周年を記念して町誌を刊行予定です。皆さんも、ぜひ下のQRコードから「昭和の○○地区は「亥の子」をしていた」「◆◆地区といえば○○がシンボル!」など、昭和50年以降の思い出や地区の自慢を教えてください。



- ㊤各班大盛り上がり
- ㊦懐かしの卒業アルバム
- ㊧思い出の品コーナー





今年の文化祭は、伊予高等学校の生徒の作品を展示したり、吹奏楽部が演奏をしたりと盛りだくさん。私たち生徒会のメンバーは、文化祭取材。どんな文化祭だったか、皆さんにお伝えします。

俳句



子どもから大人まで幅広い年齢層の作品の数々を、白石浩輔さん、よしみ吉見シナヨさんの解説付きで楽しみました。特に、小学生の俳句は表現が斬新で、二度、三度読んでいく中で、その俳句の意図を感じることができました。

写真も私たちが撮影！



今年の文化祭は何かが違うー

伊予高生がジャック



(左上から) 内藤愛美さん、谷口ましろさん、小田雛美さん、武井心那さん、豊岡恋姫さん

絵手紙

「下手でいいならやってみよう」と始めました。絵や言葉を自分で考えるのが楽しい」と口をそろえる大政孝子さん、豊田律子さん、武智温子さんの3人。25人ほどが月に2



回集まり、手紙、ハガキやうちわなどに描いています。私たちも絵手紙に挑戦してみたいと思いました。

写真



引き込まれるような作品を展示されていた写真クラブの仲木正夫さん。「写真を見る時は作品を遠くから見たり、近くから見たりして、撮影者の気持ちくみ取ってほしい」と話していました。教えていただいた写真の撮り方のコツを今後の写真撮影に生かします。



義農太鼓

胸にまで振動がくるような演奏に驚きました。大好きな音色が変わらず引き継がれていることや、その演奏で私たちを心地良い気持ちにさせてくれたことをうれしく思いました。

伊予万歳

きれいな衣装や美しい扇子さばきに感動ー。美しいまま残り続けている素晴らしい松前町の文化の力強さを実感しました。



伊予高等学校吹奏楽部演奏

「演奏よかったね」「来年もまた聞きたいね」「感動した！」会場が笑いに包まれたり、ノリノリになったりー。来場者をとりこにした演奏でした。演奏後、部員たちの顔はととても輝いていました。

誰もが「伊予吹」の演奏に夢中



芸術の秋を楽しむ 第47回まさき文化祭

「第47回まさき文化祭」は10月29、30の両日、文化センターを主会場に開催されました。文化祭では、歌や踊りなど延べ約200人が出演した芸術発表会をはじめ、生け花や絵画など約350点の作品を展示。訪れた人たちは、出品者が丹精込めて作った作品を見たり買ったりしながら芸術の秋を堪能していました。また、29日には「福祉ふれあいフェア」が同時開催。ゲームコーナーや防災コーナーなどさまざまなコーナーが設けられ、たくさんの人が笑顔で楽しんでいました。



1_ 迫力ある義農太鼓 2_ 会場に並んだ作品の数々 3_ 大盛況のクイズラリー抽選会 4_ 防災マップを配布 5_ 陶芸作品の販売。力作が並ぶ 6_ きれいな歌声が響き渡る 7_ 歴史を学ぶ 8_ 各階に設置された作品をじっくり鑑賞 9_ 華やかな伊予万歳 10_ つきたてのお餅を販売